

## 街路樹

## 学力向上に向けて ⑩

## ～新しい学習指導要領への移行にあたって～

学習指導要領が改訂され、これからの教育について具体的な姿が見えてきました。今回は教育基本法の改正や教育三法の改正もあり、新しい教育のあり方として注目されています。総則や道徳、特別活動、総合的な学習の時間については21年度からの移行となり、次年度に向けて準備されているところでしょう。また、算数・数学や理科については、一部を追加し(補助教材を利用して)、次年度から新しい教育課程で実施するなど、理数教育の充実に向けて具体的に動き出そうとしています。しかしながら、他の教科については、全部または一部を追加して新指導要領による教育課程を実施することができるとしているもの、次年度から実施するには、まだ準備不足のように思えます。

そこで、移行までの準備期間をどう生かすかが大切になってきます。

新しい指導要領による教育課程が実施された場合、授業時数やそれぞれの内容への配当時数はどうなるでしょう。また、題材や教材には何がふさわしいでしょうか。さらには、授業を展開するにあたって必要な教材等は整えられ、すぐにでも実施可能でしょうか。

今回の改訂をきっかけに、私たちは今までの指導を見直す機会としたいものです。また、教科書がない状態だからこそ、指導要領や解説(文部科学省ホームページよりダウンロード可能：[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/index.htm))をもとに、自由な発想で題材や教材、それらを用いた授業展開について考えることができます。もちろん先生方のネットワークを生かすことも必要になるでしょう。「教科書を教えるのではなく、教科書で」といわれますが、「何を」を教えるかじっくりと考えることのできる機会となるのではないのでしょうか。

今回の改訂を、私たち自身が学習内容について見つめ直す機会ととらえることで、指導力の向上に結びつけたいものです。

## 移行措置の概要

21年度から実施

総則、道徳、特別活動、総合的な学習の時間  
算数・数学、理科(教材を整備して先行実施)

学校の判断で先行実施

各教科(算数・数学、理科を除く)

平成24年度完全実施に

(中学校技術・家庭科では、実質22年度から移行)

## 授業改善・指導技術 ⑥

## ～課題解決能力を育成する授業づくり～

子どもたちに自ら学び、自ら考える力を育成するためには、考え方が育つ過程を大切にすることが重要です。

- ① 問題の発見や構成を自分のものとする段階の指導の充実を図る。
  - ② 解決に必要な情報を集めたり、整理したりすることができるようにする。
  - ③ 自力解決の場と時間を確保し、見通しを持って自ら考える活動が十分できるようにする。
  - ④ 作業的・体験的な活動を積極的に取り入れ、学習活動を多様化し、楽しさ・充実感を味わわせる。
  - ⑤ 各自の自力解決について情報交換したり、学び合ったりする場を充実し、自分や他の人のよさに気づかせる。
  - ⑥ 適宜、自己評価や相互評価の場を設け、振り返ったり、自覚させたりする。
- ※ 上記①～⑥のことを配慮し、子どもたちが互いの考えを認め合い、よりよいものを創り上げていこうとする学び合いの場となるような学習集団をつくりましょう。

## 学級経営のヒント ⑥

## ～学級の集団経営・・・高め合う学級集団づくり～

学級経営は、授業の花を咲かせるための、かけがいのない土壌であり、環境でもある。認め合い支え合う学級の風土をつくりたいものです。

- 1 支持的な関係づくり・・・支持的風土の学級とは  
○人(級友)の話が聞ける。○協力ができる。  
○認め合い、励まし合いがある。
- 2 組織の編成(係活動や小集団など)と機能する適切な指導  
○全員で分担する組織をつくり、交流を図るため長期間固定しない。○一人一人の能力や個性を生かせるようにする。
- 3 集団活動の指導  
○集団生活が明るく、民主的・自主的にすすめられるように。  
○仲間同士で問題を解決したり、係り活動を分担しあったりして、自分たちで学級を作っていくのだという意識を育てる。  
○行事や朝会などの意義を意識して事前・事後指導をする。

## 研修の感想・講義紹介

## 小学校英語実践講座②の感想より

- 模擬授業では、低・中・高すべてのブロックの授業を見ることができました。学年の特質にあわせて英語に慣れ親しませるための手法が必要であることがよくわかりました。(小・S)
- 子どもたちの実態に合わせて、楽しい英語活動ができるようにしたいと思えます。(小・M)
- HRT単独の授業に頭を悩ませていたので、DVDを使った模擬授業を拝見し、大変勉強になりました。(小・I)
- 高学年の指導では、英語嫌いにさせないような努力が重要だと思った。(小・K)

## 道徳教育実践講座②講義より

## 《道徳の時間》の特質を生かした改善

- 1 子どもが豊かに自己を見つめる授業にするために、「多様な価値観が生きた学習をする。」・・・自己が豊かに見つめられる・段階的な多様さ・対立的な多様さ・発達の多様さ
- 2 道徳的価値を内面的に自覚するために、「共感的追求を広げる学習にする。」・・・想像や共感だけでは自覚が深まらない・迷いや葛藤・感動・気付きや学び・批判的見方から内面化
- 3 子どもが主体的に道徳の実践力を身につけていくために、「問題意識を大切に学習にする。」・・・問題意識が主体的な学習をつくる  
・生活や経験・共通の題材(補助資料)・中心的な資料